

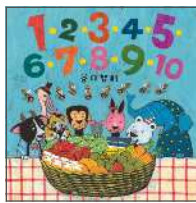
1 あーん ぱっぷん!



- ① 山岡 ひかる/作
- ② くもん出版
- ③ 900円
- ④ E

お皿の後ろに隠れている野菜たちが、美味しいおかゆやスープに変身します。柔らかなオノマトペと可愛らしい絵で、離乳食期の子供に食べる楽しさを伝えてくれます。読後は、「あーんぱっぷん!」と言いながら、親子で楽しく食事の時間が過ごせることでしょう。

2 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10



- ① 谷口 智則/作・絵
- ② 金の星社
- ③ 1400円
- ④ E

ねずみにうさぎ、みけねこ、ぞう、しろくま、さる、ハチなど、いろいろな動物が果物や野菜、はちみつをもって集まり、10まで数えてジュースを作るお話です。

リズムカルな文とカラフルな絵で数を楽しんで学べる絵本です。

3 うかぶかな?しずむかな?



- ① 川村 康文/文
遠藤 宏/写真
- ② 岩崎書店
- ③ 1400円
- ④ E

水そうに水をいっぱいためて、ミニカーやねんど、ビニールにんぎょうを入れてみたり、かぼちゃやにんじんを入れてみたり……。形を変えてみたり、押し込んでみたり……。

何が浮かんで、何が沈むか。子供と大人と一緒に楽しめる、科学の絵本です。

4 うみのたからもの



- ① たかお ゆうこ/作
- ② 講談社
- ③ 1600円
- ④ E

海辺の貝殻を五感を使いながらイメージしてみると、遠い国からやってきた船になったり、星がきらめく夜空になったりと、時空を超えた神秘的な世界が広がります。

貝殻の手触りや波の音が感じられるように、海の光景は丁寧に美しく描かれています。

読み手の感性を豊かにしてくれる絵本です。

5 おばあちゃんちのふしぎなまど



- ① シビル・ドラクロワ/さく
石津 ちひろ/やく
- ② ほるぷ出版
- ③ 1900円
- ④ E

毎年、夏に一週間だけ、おばあちゃんの家で過ごすわたしは、毎日、お昼寝をするのが日課です。お昼寝する部屋の窓をあけると、そこにはルソーやゴッホなどの名画の世界が広がっていました。世界的な名画によって想像力が刺激される楽しい絵本です。

6 お風呂おじゃまします



- ① たしろ ちさと/著
- ② 文溪堂
- ③ 1500円
- ④ E

お風呂がだいすきなたろちゃんとかぼちゃん、トロッコ列車に乗ってお風呂めぐりにでかけます。うさぎちゃん、ぶたちゃん、しかさん……。みんなを連れて最後に向かったのは、どこでしょう。読み終わったときには心も体もぼかぼかになっているはずですよ。

7 お風呂にちゃっぼーん!



- ① きたやま ようこ/さく
- ② あすなろ書房
- ③ 900円
- ④ E

くまのくーたんは、眠る前にお風呂に入ります。服を脱いで、お風呂にちゃっぼーんとしようとしたら、湯船さんに止められてしまいました。お風呂に入る前にすることは何でしょう。お風呂に入る前に親子で一緒に読みたい、生活の絵本です。

8 おやこ



- ① ふくかわ ゆめみ/作
- ② アルファポリス
- ③ 1100円
- ④ E

ページをめくると、コアラやペンギン、いぬなどのたくさんの動物や人間のおやこが、ぎゅーっとくっついたり、見つめ合ったりする絵本です。「ぴよぴよ」、「ちゅうちゅう」などの、動物や人間の動きに合わせたオノマトペも楽しい、ファーストブックにぴったりな一冊です。

9 かえりみちとつとこ



- ① ひろまつ ゆきこ/文
こやま ともこ/絵
- ② 岩崎書店
- ③ 1300円
- ④ E

夕方の帰り道、くまくんは、おうちに向かってとつとこ歩いています。だんだん暗くなるなか、くまくんの後ろから何かがついてきます。くまくんは、無事に家に帰ることができるでしょうか。

「とつとこ とつとこ」とリズムが楽しい、読み聞かせにぴったりの絵本です。

10 からだたんけんれっしゃ



- ① 濱田 真理/文
大橋 慶子/絵
- ② 交通新聞社
- ③ 1400円
- ④ E

「お口に入ったごはんは、どこへ行くんだろう?」。男の子がふしぎな列車に乗って、食べ物と一緒に自分の体の中を探検します。

口、食道、胃、肝臓、小腸、大腸など、さまざまな体のしくみや食事の大切さを学べる絵本です。

11 ごみしゅうしゅうしゃのぼいすけくん



- ① 正高 もとこ/作
鎌田 歩/絵
- ② 岩崎書店
- ③ 1300円
- ④ E

ゴミ収集車のぼいすけくんは、町中のごみを集めるのが仕事です。しかし、散らかった収集所や間違ったごみの捨て方のせいで火事になったごみ収集車を見て、元気をなくしてしまいます。

ごみの分別の大切さを知るとともに、清掃員の方々への感謝の気持ちが湧いてくる絵本です。

12 さわってもいい？



- ① はまの ゆか/著
- ② めくるむ
- ③ 1800円
- ④ E

やわらかいほっぺたのたっくん。ゆうちゃんは「さわってもいい？」と聞いてくれたのに、えっちゃんは聞かずにさわってきます。たっくんはだんだん嫌な気持ちに……。自分を守ること、「いやだ」と言えること、相手を思いやる大切さを教えてくれる絵本です。

13 すいぞくかんのおいしゃさん



- ① 大塚 美加/ぶん
齋藤 槇/え
- ② 福音館書店
- ③ 1000円
- ④ E

水族館の獣医さんは、生き物の健康管理と治療だけでなく、水槽の掃除やイルカショーへの出演などもこなし、大忙しの毎日です。

かごしま水族館の獣医師によって書かれた絵本で、獣医師としての生き物に対する使命感と愛情が感じられます。

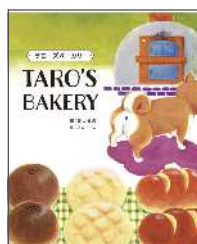
14 そらうみ



- ① 富安 陽子/ぶん
はぎの たえこ/え
- ② 講談社
- ③ 1600円
- ④ E

夏の暑い日、入道雲に続く坂道をのぼった先に広がっていたのは、「そらのうみ」でした。空の海で泳ぎ疲れたら、雲の島でアイスクリームを食べます。てくてく歩き、もくもく雲をかき分け、スイスイ泳ぐ……。リズムカルな文章に、夏のワクワク感が伝わってきます。




15 タローズベーカリー TARO'S BAKERY



- ① 影山 直美/絵
さの ももこ/文
- ② マイルスタッフ
- ③ 1500円
- ④ E

犬のたろうは、毎日、自分のお店で自分の好きなパンを作って売っています。しかし、変なうわさが広まって、お客さんが来なくなりました。思い悩むたろうの元に現れたのは……。

相手を思いやるとはどういうことかということに気付かせてくれる絵本です。

<p>16 つきみのまつり</p>  <p>① 羽尻 利門/作 ② 世界文化ブックス ③ 1400円 ④ E</p>	<p>今日は十五夜、お月見の日。キッカとгентは、お母さんといっしょに神社のお祭りに出掛けて、とってもきれいな満月を見ます。そこにたくさんの動物たちもあらわれて……。</p> <p>月夜の神秘的な空気を感じることができる絵本です。</p>
<p>17 どんなかお?</p>  <p>① べかたろう/著 ② KADOKAWA ③ 1200円 ④ E</p>	<p>切ったり、むいたりして、見えてくる野菜や果物の断面。普段はあまり気にならない断面も、ページをめくるたびに、不思議と笑った顔やびっくりした顔に見えてきます。レモンはどんな顔をしているかな。親子で楽しみながら読み進められる食育絵本です。</p>
<p>18 なに まってるの?</p>  <p>① accototo ふくだとし お+あきこ/著 ② 文溪堂 ③ 1200円 ④ E</p>	<p>それぞれの動物が何を待っているかが、かわいらしい絵とともに繰り返し登場します。夜が来るのを待つ「ふくろう」と、明日が来るのを待つ「ことり」。真逆のものを待つ動物たちの姿が、ほほえましくもあります。思いや願いは十人十色であると気付かせてくれる絵本です。</p>
<p>19 やさいのはな なんのはな?</p>  <p>① 宮崎 祥子/構成・文 網野 文絵/写真 ② 岩崎書店 ③ 1400円 ④ E</p>	<p>ごぼうの花やれんこんの花。普段食べている身近な野菜でも、花を咲かせている姿はなかなか見かけないものです。</p> <p>野菜やくだもの花について、クイズ形式になっていて、野菜の実り方や食べる部分はどこなのかなど、楽しみながら学ぶことができます。</p> <p>親子でいっしょに楽しめる写真絵本です。</p>
<p>20 わたし おねえちゃんになります</p>  <p>① あいざわ ふみ/作 ② こぐま社 ③ 1200円 ④ E</p>	<p>「あかちゃんがやってきたら、何をしてあげたらいいのかな」。うたちゃんは、森に出かけて動物たちに尋ねます。すると、動物たちから、たくさんのおたよりが届きました。</p> <p>初めておねえちゃんになる「うたちゃん」と動物たちの優しい気持ちがあふれた絵本です。</p>